

《第 28 号》「夢は「生活環境力」の育成」

佐々木定治(特定非営利活動法人えどがわエコセンター事務局長)

「NPO 法人えどがわエコセンター」は、区民・学校・事業者・行政とのパートナーシップのもと、環境について主体的に考え、地球環境への負荷を減らすアイデアを出し合い活動することを旨として設立しました。

スタートから 4 年経ちましたが、本年度の事業は

- (1)地球温暖化防止とごみ減量に取り組む「もったいない運動えどがわ」の推進
- (2)「環境生活力」の向上
- (3)環境学習活動の推進
- (4)水と緑豊かな全環境の保全と活用

といった柱のもとで展開されました。

(3)環境学習活動としては、学校での環境学習活動を支援する「グリーンプラン推進校」事業があります。この制度は、年間を通じさまざまな環境テーマに取り組む学校を、経費や人材の面でエコセンターが具体的にサポートし、成果を発表していただくものです。

この推進校を中心に、区と教育委員会の支援を得て、小学生を対象とした「キッズ・マイバッグコンクール」を開催しました。家庭科単元「ぬって!使って!楽しい生活」でマイバッグ製作に取り組んだのです。子どもたちが自ら作ったバッグを持ち、調理実習の食材を学区内の商店街に「買い」求め、「調理」し、「食べる」といった一連の過程を通して、「資源とエネルギー消費の学習」を展開しました。300 点を超える作品は、3 月の「もったいない運動えどがわ区民大会」でも公開し大好評でした。

私は、望ましい「消費生活」のスタイルを築く事は、人間として「環境に配慮した生き方」をすることに繋がると考えます。こうした考え方を学校の「環境教育」の基本に捉えることで、一人ひとりの児童に「生活環境力」が豊かに涵養(かんよう)されることを夢見ながら日々努力を重ねています。

以上